

大学院での学びを活かし 臨床の中でも看護研究に取り組む

婦人科・乳腺外科病棟の新人看護師として、日々勉強の毎日を送っています。

自身の経験を研究動機にした卒業論文から、働く若い世代の女性における健康課題について知見を深めたいと思い、本学大学院に進学しました。大学院在学中は多数の文献を読む中で、さまざまな視点で女性の健康課題を明らかにした先行研究に触れ視野を広げることができました。それと同時に、自身の研究疑問を明確化してゆく過程に悩み、文献検討を何度も繰り返しました。本調査の後も限られたデータを分析し、その結果から看護の視点にどのように活かすか模索しながらの論文執筆でした。その中で学部生時代からお世話になった先生方からは丁寧な指導や助言をいただき、修士論文を完成させることができました。今後は大学院で学んだ研究方法の基礎や文献の読み方といった研究のための知識を活かし、臨床の中で研究疑問を見つけて看護研究として取り組みたいと考えています。



はたの まき
畑野 真希さん

2023年度修了

国立病院機構大阪
医療センター 看護師

患者に安全な看護を提供できる 職場づくりをめざして

毎年スタッフが入れ替わる中で、退職する新人看護師も部署運営する看護師長もさまざまな考えがあることを肌で感じていました。看護管理者としては、臨床で看護師が減ることなく、患者に安全な看護を提供するにはどうすれば良いかと悩む中で、日々のジレンマを研究で明らかにし、看護師不足に貢献したいと思い大学院進学を決意しました。大学院では、自分の考えに根拠を持たせ、他者に伝えるにはどのようにすれば良いか自問自答を繰り返し、研究を進めていく日々でした。

また、大学院生活は仕事と家庭、学業との両立で常に自分との闘いでしたが、院生や教授とのやり取りで刺激を受け新たな発見ができ、人間的にも成長したと実感しています。今後は、研究成果を臨床で活かし、看護管理者として看護師が就業継続できる職場環境をめざしていきます。また、さらに学びを深めるため本学の研究生として在学し、研究内容をブラッシュアップしていきたいと考えています。



みずかみ ともこ
水上 朋子さん

2022年度修了

独立行政法人地域医療
機能推進機構(JCHO)
中京病院 看護師長

大学院生VOICE

長期履修制度を利用して進学 目標は精神科看護の質向上

学生の頃より心のケアに魅力を感じ、「精神看護学」領域で専門性を高めたいと志すようになり、外科病棟を3年経験した後に精神科の単科病院に転職しました。精神科における看護は、コミュニケーションによるケアが重きに置かれているのが特徴であり、試行錯誤をしながら患者様と信頼関係を築いていくことにとてもやりがいを感じていました。中間管理職の立場になった際に、専門性の高い患者ケアやスタッフの教育が十分に行えていないことを実感し、より専門性を高めたいという思いから大学院進学を決意しました。大学院では、精神科看護の質向上のための研究を「モチベーション」の視点から科学的に追究したいと考えています。先生方や大学院の仲間とのディスカッションから新たな気づきがあり、学ぶことの楽しさを実感しています。長期履修制度を利用して子育てと両立しながら、研究課題に対応できる研究力を身につけることを目標に研鑽を積みみたいと考えています。



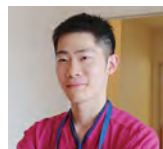
くろさわ あかね
黒澤 茜さん

2024年度入学生

アカデミックな環境に刺激を 受けつつ、意欲的に研究

急性期病院に勤務して3年目になります。入院日数が短いため入院患者の入れ替わりが激しく、時間に追われることが多くありますが、入職時と比較して少しずつですが、患者さんが満足できる看護ケアの提供を考えて行動できるようになってきました。しかし、超高齢社会・働き手の不足といった2025年問題に直面し、質の高い看護を安全に、かつ効率よく提供する必要性を感じました。このような看護の提供を検討するためには、看護場面におけるさまざまな課題を多様な視点から分析する力の必要性を感じ、その力を身につけたいと思い大学院に進学しました。

大学院での授業は、自己の疑問に関して先行研究を用いて明らかになっていることや自分自身の考えを発表し、ディスカッションすることを中心に展開されることが多いです。授業を通して物事を捉える新たな視点に気づき、論理的な思考力が培われていきます。このようなアカデミックな環境の中で、日々の新たな発見が刺激になり、自らの研究を進める意欲につながっています。



みずの まさき
水野 将輝さん

2023年度入学生

JA愛知厚生連
豊田厚生病院 看護師

施設・設備



図書館



エントランスロビー



院生室

科目等履修制度について

2024年度より科目等履修制度が導入されました。看護学研究科で開講している科目を先行して履修することができ、より具体的に大学院での学びをイメージしていただくことが可能です。科目等履修生として修得した単位は入学後に認定され、修了要件の単位に充当することができます。(上限10単位まで)

看護実践研究センター

広く学べるさまざまな研修プログラム

年間を通して、看護の研究方法や看護倫理、多職種連携などをテーマとした看護職向け研修プログラムを提供しており、大学院生も参加できます。また、臨床現場で行う個別の研究に関する相談にも応じています。



詳しくはHPを
ご覧ください